

# ファセンラ<sup>®</sup>による 治療を受けられる 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA)の患者さんへ

【監修】

杏林大学医学部

腎臓・リウマチ膠原病内科学教室 教授

駒形 嘉紀先生



# Contents

---

好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の 治療で目指すこと……………	1
--	---

EGPA 患者さんの体の中で起きていること —好酸球の増加と活性化—……………	2
--	---

好酸球を除去する薬、ファセンラ……………	4
----------------------	---

ファセンラによる治療で期待できること……………	5
-------------------------	---

ファセンラによる治療の進め方……………	6
---------------------	---

ファセンラの副作用……………	7
----------------	---

## 医療費の助成について

公的医療保険制度……………	10
---------------	----

医療費の助成制度……………	12
---------------	----

難病法による医療費助成制度……………	13
--------------------	----

高額療養費制度……………	18
--------------	----

医療費の負担を軽減するその他の制度……………	22
------------------------	----

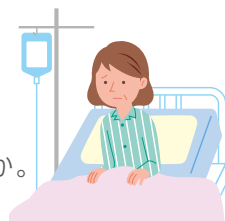
医療費控除……………	23
------------	----

医療費助成制度 サポートサービス……………	24
-----------------------	----

ファセンラによる治療を受けられる患者さんへ

## 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の 治療で目指すこと

EGPAはその経過のなかで、急に体調が悪くなり、  
ときには入院が必要になることもあります。  
この冊子を読んでもらっている方も、  
このような経験をされたことがあるのではないのでしょうか。  
また、良くなったのに再び悪化して、  
つらい思いをされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



**EGPAの治療では、「寛解(かんかい)」と呼ばれる状態を目指します<sup>1)</sup>。**

「寛解」は治癒という状態ではないものの、病気による症状や検査の異常がみられない状態です<sup>2)</sup>。

治療の主体はステロイド薬ですが、患者さんの状態に合わせて、  
ステロイド薬の量を調節したり、他の薬を追加して、  
病気の状態をコントロールします。



日本のEGPAの診療ガイドラインにおいて、

**ステロイド薬はできるだけ少ない量に減らしていくことが重要と  
されています<sup>3)</sup>。**

1) 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業(編). ANCA関連血管炎 診療ガイドライン2023, 診断と治療社, p.156

2) 難病情報センター. 用語集「寛解」(<https://www.nanbyou.or.jp/glossary/寛解>)

3) 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業(編). ANCA関連血管炎 診療ガイドライン2023, 診断と治療社, p.162

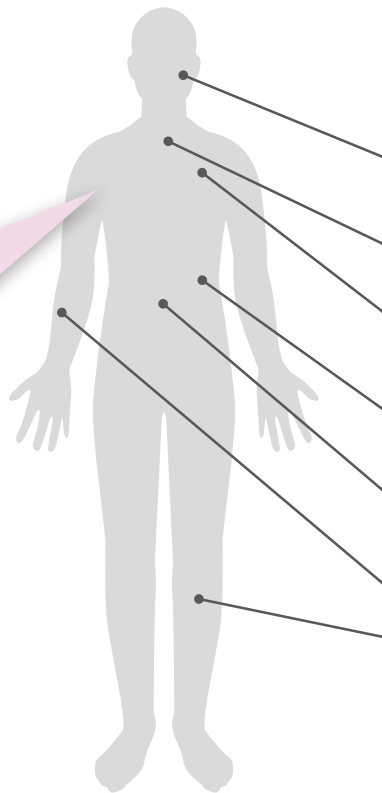
# EGPA患者さんの体の中で起きている

EGPAの原因ははっきりしていませんが、体内で異常に増加し、活性化した**好酸球**が深くかかわっていることがわかっています<sup>1,2)</sup>。

**好酸球**は「免疫」にかかわる細胞の1種で、寄生虫など体内に侵入した外敵と戦うため、その内部に特殊なタンパク質が貯蔵されています。

## EGPAと好酸球<sup>3-5)</sup>

活性化した好酸球が血管に炎症を起こし、全身の様々な臓器に障害をもたらします。



1) 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業(編).

ANCA関連血管炎 診療ガイドライン2023, 診断と治療社, p.144-145

2) Furuta S, et al.: Allergol Int. 2019; 68: 430-436

3) 難病情報センターホームページ

(<https://www.nanbyou.or.jp/entry/3877>)

4) 日本呼吸器学会ホームページ

(<https://www.jrs.or.jp/citizen/disease/c/c-06.html>)

5) Wechsler ME, et al.: J Allergy Clin Immunol. 2023; 151: 1415-1428

# こと ―好酸球の増加と活性化―

アレルギー反応などの異常があると、好酸球からこのタンパク質が放出され、外敵ではなく体の組織を傷つけてしまいます。

その結果、**細い血管に炎症（血管炎）**が起こり、肺、耳、鼻、神経、心臓、腎臓、消化器などさまざまな臓器が障害されます。

全身

発熱、体重減少

耳・鼻

副鼻腔炎、鼻茸

気道・肺

喘息、肺炎

心臓

心筋炎、心不全

腎臓

蛋白尿、血尿、糸球体腎炎

消化器

腹痛、潰瘍、出血

神経

しびれ、痛み、手足の動かしにくさ

皮膚

紫斑（青あざ）、じんましん

EGPA患者さんは、EGPAと診断される前から**喘息**を患っている方が多く、**好酸球**は喘息にも関係することがあります。



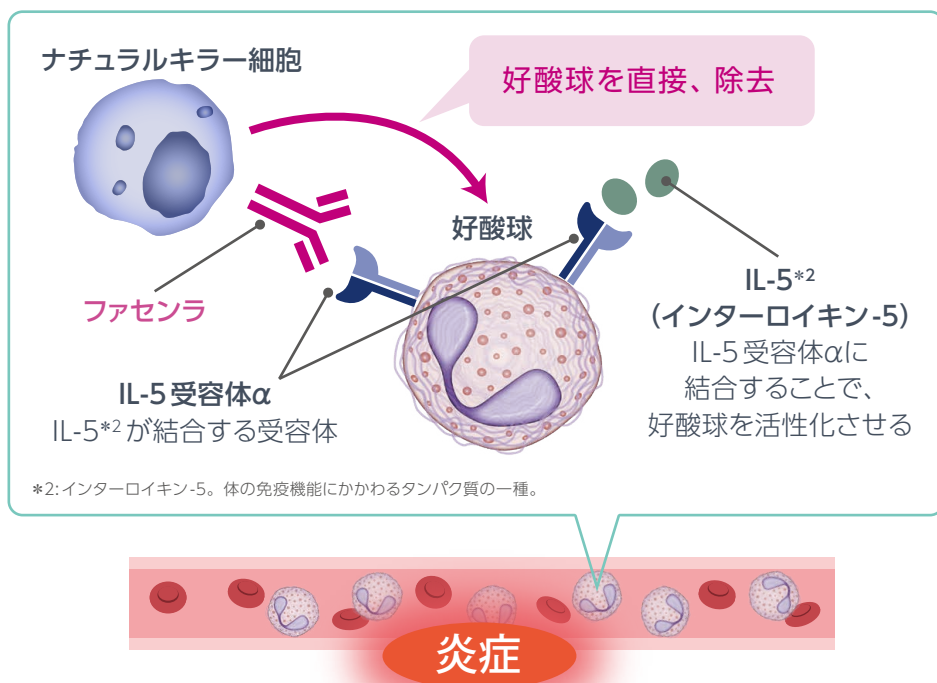
# 好酸球を除去する薬、ファセンラ

ファセンラは**好酸球を除去**する働きがあります。

ファセンラが好酸球の表面(IL-5受容体 $\alpha$ )に結合すると、ナチュラルキラー細胞\*<sup>1</sup>と呼ばれる細胞が好酸球に引き寄せられます。ナチュラルキラー細胞は、ファセンラが結合した好酸球を攻撃し、直接除去します。

\*1：免疫に関与した細胞で、全身をめぐってウイルスに感染した細胞やがん細胞を見つけ、攻撃する働きがある。

## ファセンラによって好酸球が除去される仕組み<sup>1-4)</sup>



1) Molfino NA, et al.: Clin Exp Allergy. 2012; 42: 712-737

2) 社内資料 (組換えヒトIL-5R $\alpha$ に対するベンラリズマブの結合親和性)

3) Kolbeck R, et al.: J Allergy Clin Immunol. 2010; 125: 1344-1353

4) 社内資料 (ヒト好酸球に対するベンラリズマブのADCCを介したアポトーシス誘導)

# ファセンラによる治療で期待されること

EGPAの治療では、血管炎をおさえるためにステロイド薬が使われますが、日本の診療ガイドラインでは、「適切な時期に中止、中止が難しくてもできる限り少量に減らすことが重要」とされています<sup>1)</sup>。

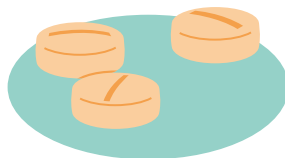
ステロイド薬などによる治療を行っても効果が不十分なEGPAの患者さんにファセンラを追加すると、次のような効果が期待されます<sup>2)</sup>。

## ファセンラによる治療で期待されること<sup>2)</sup>

### 血液中の好酸球の減少



### ステロイド薬の減量



### 寛解<sup>\*3</sup>の達成



\*3: 治癒という状態ではないものの、病気による症状や検査の異常がみられない状態<sup>3)</sup>。

1) 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業(編). ANCA関連血管炎 診療ガイドライン2023, 診断と治療社, p.162

2) 社内資料 (D3253C00001 (MANDARA試験) 治験総括報告書) (承認時評価資料)

3) 難病情報センター. 用語集「寛解」(<https://www.nanbyou.or.jp/glossary/寛解>)

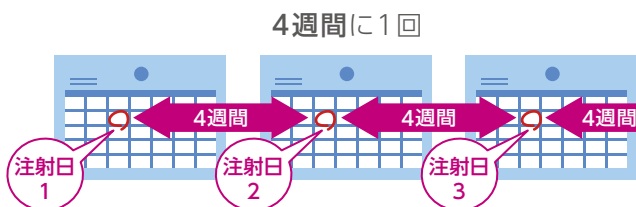
# ファセンラによる治療の進め方

ファセンラは、**経口ステロイド薬などによる治療で効果が不十分なEGPAの患者さん**の治療に使われます。

**4週間に1回**、上腕、太腿またはお腹に皮下注射します。

ステロイド薬などのこれまでの治療にファセンラを追加し、症状や検査値を見ながら、状態に合わせてステロイド薬などの量を調節します。

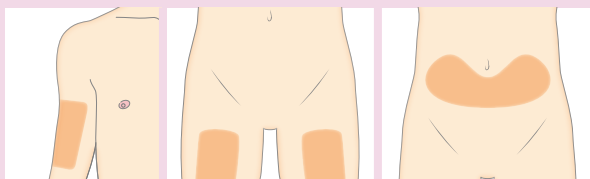
## 投与スケジュール



## 注射方法

1回に1本のファセンラを、上腕、太腿またはお腹に皮下注射

### 注射部位



## 大切なこと



- ファセンラによる治療を始めた後、ご自身の判断でステロイド薬の服用量を減らしたり、中止したりしないでください。
- ファセンラによる治療を中断すると、再び悪化する可能性があります。寛解が続くように、治療を継続しましょう。



# ファセンラの副作用

ファセンラを注射すると、人によっては頭痛、発熱、注射部位反応\*などが起きることがあります。気になる症状やいつもと違う体調の変化を感じた場合は、主治医または薬剤師に相談してください。

また、**じんましん、息苦しさ、舌や唇・喉の腫れ**などがあらわれた場合は、**重篤な過敏症**の初期症状の可能性があるので、**速やかに主治医に連絡してください**。

## 発現するおそれのある主な副作用

頻度	副作用
1%～10%未満	頭痛、発熱、注射部位反応*
0.1%～1%未満	過敏症反応(じんましん、丘疹性じんましん、発疹)

※注射した部位が痛む、赤く腫れる、かゆくなる、皮膚の表面が小さく盛り上がるなどの反応

次のような症状がみられたときは、速やかに主治医に連絡してください



**重篤な過敏症の初期症状の可能性があります**

- ファセンラによる治療で、EGPA以外の好酸球関連疾患（気管支喘息など）の症状が変化する可能性があり、適切な治療を怠った場合、症状が急激に悪化するおそれがあります。EGPA以外の好酸球関連疾患がある場合は、その治療を担当する医師にファセンラの使用について相談してください。また、その医師から薬が処方されている場合は、ご自身の判断で中止や減量をしないでください。

**何か気になる点があれば、主治医に相談しましょう。**

MEMO

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.

# 医療費の助成について

(2024年9月現在)

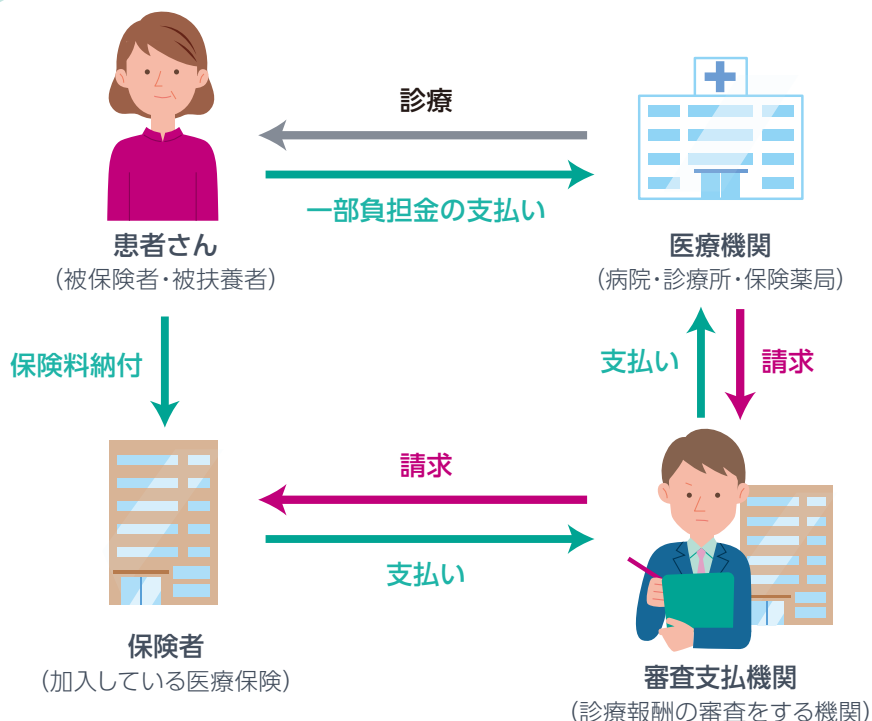
# 公的医療保険制度

病気やケガをしたときの医療費の一部を公的な機関が負担する制度のことを、公的医療保険制度といいます。

国民皆保険制度を採用している日本では、すべての人に公的医療保険への加入が義務づけられていますが、加入する保険の種類は年齢や職種などによって異なります。

また、公的医療保険によって、医療機関で治療を受けたときに窓口で支払う金額（自己負担）は原則として3割となりますが、負担の割合は年齢や所得によって変わります。

## 公的医療保険のしくみ



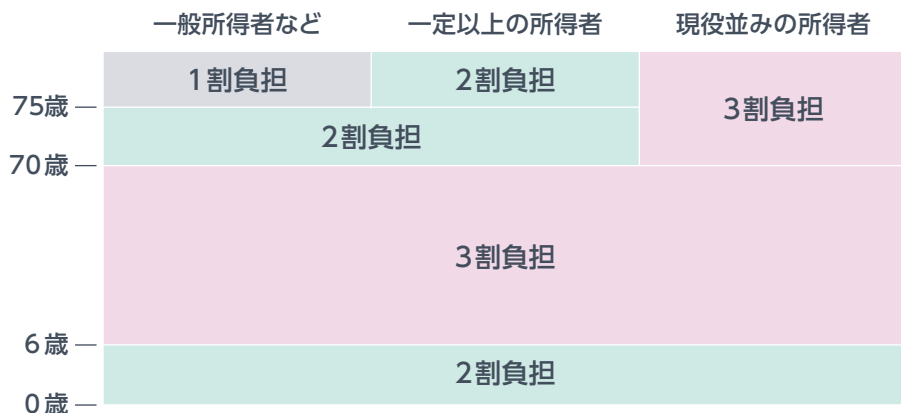
日本医師会、日本の医療保険制度の仕組み(<https://www.med.or.jp/people/info/kaifo/system/>)より改変

## 公的医療保険の種類



日本医師会. 日本の医療保険制度の仕組み(<https://www.med.or.jp/people/info/kaifo/system/>)より改変

## 医療費の自己負担割合



厚生労働省. 医療費の一部負担 (自己負担) 割合について (<https://www.mhlw.go.jp/content/000937919.pdf>) より改変

# 医療費の助成制度

国や自治体などは、患者さんの医療費の負担を軽くするために、自己負担額の一部または全額を助成する制度を設けています。

**EGPA**の患者さんでは、**難病法による医療費助成制度**や**高額療養費制度**などを利用することで、医療費の負担を軽減できる場合があります。

## 主な医療費助成制度

### 難病法による医療費助成制度

国が指定する指定難病と診断され、その病気の治療にかかった医療費に対して助成を受けられる制度。

**【対象者】** 指定難病と診断され、重症度など一定の条件を満たす方

### 高額療養費制度

1ヵ月の医療費が高額になったときに、自己負担額を一定額までにおさえることができる制度。

**【対象者】** 公的医療保険に加入するすべての方

### その他の医療費助成制度

加入する健康保険組合やお住まいの自治体などが、独自の医療費助成制度を設けている場合がある。

# 難病法による医療費助成制度

## ● 指定難病

難病とは、原因がはっきりしておらず、治療法が確立されていない希少な病気で、長期間の療養を必要とする病気を指します。このうち、特に国が定めた基準に該当するものを**指定難病**といい、2024年10月現在、指定難病の数は341となっています。

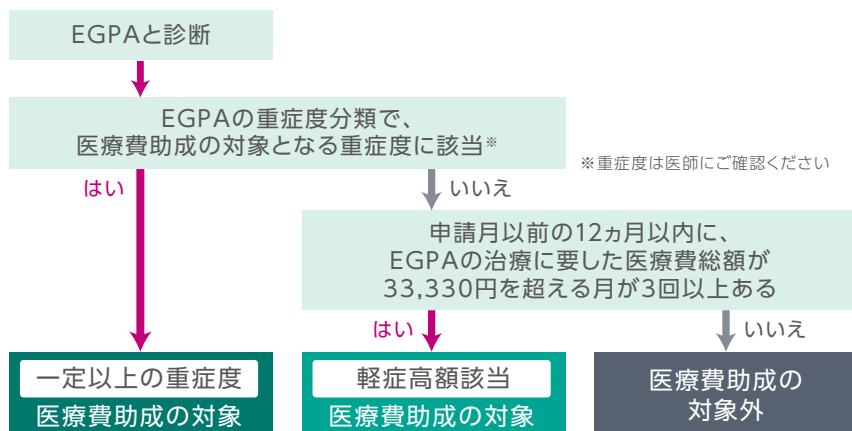
**EGPAは指定難病**の1つで、重症度など一定の条件を満たした方は医療費助成を受けることができます。

## ● 難病法による医療費助成の対象

指定難病は、それぞれの病気の特性に応じた重症度分類が設定されています。指定難病と診断された方のうち、①一定以上の重症度の方、②軽症でも高額な医療を継続して受ける必要のある方(これを「**軽症高額該当**」といいます)は、難病法による医療費助成を受けることができます。軽症高額該当の条件は、医療費総額が33,330円※を超える月が過去1年間で3回以上あることです。

※例えば、公的医療保険が3割負担の場合、自己負担がおよそ1万円

## 医療費助成の対象（EGPAの場合）



難病情報センター、指定難病患者への医療費助成制度のご案内(<https://www.nanbyou.or.jp/entry/5460#nagare>)より作図

# 難病法による医療費助成制度

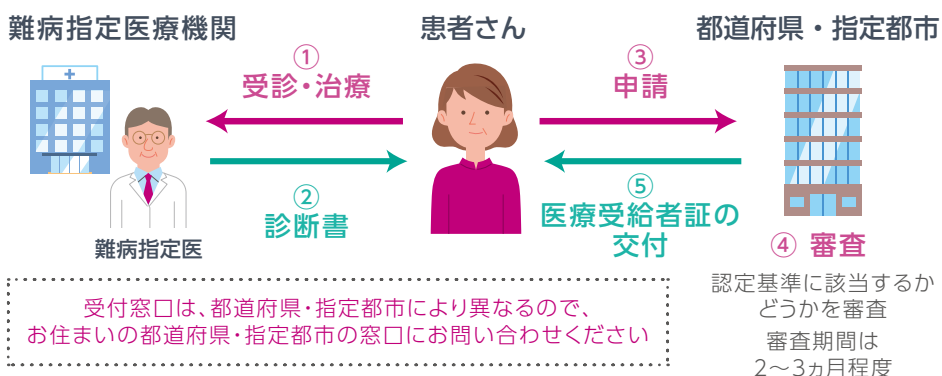
## ● 医療費助成を受けるための手続き

指定難病の医療費助成を受けるには、**特定医療費(指定難病)受給者証(以下、医療受給者証)**が必要です。

必要な書類をそろえて、お住まいの都道府県・指定都市の窓口に応請し、審査を受けます。

審査で認定されると、医療受給者証が交付されます。

## 医療費助成を受けるまでの流れ



難病情報センター、指定難病患者への医療費助成制度のご案内(<https://www.nanbyou.or.jp/entry/5460#nagare>)より改変

## 申請に必要な書類

- 特定医療費(指定難病)の支給認定申請書
- 診断書(臨床調査個人票)
- 世帯全員の住民票の写し
- 世帯の所得を確認できる書類(市町村民税(非)課税証明書など)
- 健康保険証の写し など

自己負担上限額の決定や認定要件の確認のため、追加の書類が必要になる場合もあります

難病情報センター、指定難病患者への医療費助成制度のご案内(<https://www.nanbyou.or.jp/entry/5460#nagare>)



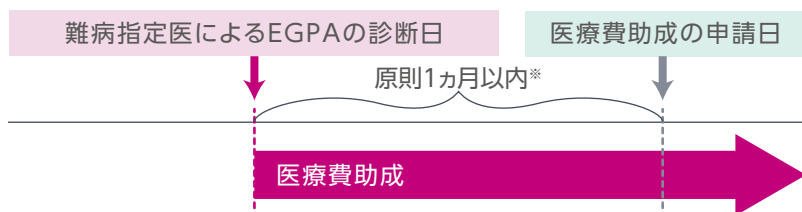
## ● 医療費助成の開始時期

助成の開始日は都道府県・指定都市への申請日ではなく、難病指定医によってEGPAと診断された日、もしくは軽症高額該当の基準を満たした日の翌日です。

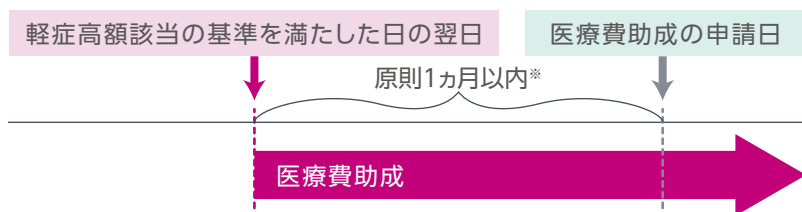
申請日からこれらの日にちまで遡って助成されます。

### 助成の開始日

#### 一定以上の重症度の方



#### 軽症高額該当の方



※診断書の受領に時間を要したなど、やむを得ない理由があるときは最長3ヵ月まで延長

厚生労働省、「助成開始時期を前倒しできます」より改変  
(<https://www.mhlw.go.jp/content/001153322.pdf>)

## ● 医療費助成の有効期間

医療受給者証の有効期間は原則として1年以内で、病状や治療の状況から医療を受けることが必要と考えられる期間とされています。

有効期間を過ぎると医療費助成を受けられないため、治療の継続が必要な場合は**更新の申請**が必要です。

# 難病法による医療費助成制度

## ● 自己負担上限額

難病指定医療機関（病院、診療所、薬局など）で医療受給者証を提示すると、窓口での支払いが**自己負担上限額**までとなります\*1。

月ごとの自己負担上限額は、世帯の所得に応じて決められています。

また、**高額な医療を長く継続**する場合（これを「**高額かつ長期**」といいます）、自己負担上限額はさらに引き下げられます。

高額かつ長期が適用されるのは、EGPAの治療にかかる月ごとの医療費総額が5万円\*2を超える月が年間6回以上ある場合です。

\*1：医療受給者証が交付されるまでの間に難病指定医療機関においてかかった医療費は、払い戻しを請求することができます  
\*2：例えば、公的医療保険が2割負担の場合、自己負担がおよそ1万円

## 自己負担上限額（月額）

（単位：円）

階層区分	階層区分の基準 ( )内の数字は、夫婦2人世帯 の場合における年収の目安		自己負担上限額（外来＋入院） （患者負担割合：2割）		
			一般	高額かつ長期※	人工呼吸器等 装着者
生活保護	—		0	0	0
低所得Ⅰ	市町村民税 非課税 (世帯)	本人年収 ～80.9万円	2,500	2,500	1,000
低所得Ⅱ		本人年収 80.9万円超～	5,000	5,000	
一般所得Ⅰ		市町村民税 課税以上7.1万円未満 (約160万円～約370万円)		10,000	
一般所得Ⅱ	市町村民税 7.1万円以上25.1万円未満 (約370万円～約810万円)		20,000	10,000	
上位所得	市町村民税25.1万円以上 (約810万円～)		30,000	20,000	
入院時の食費			全額自己負担		

\*「高額かつ長期」の対象となるのは、受給認定を受けた指定難病の治療にかかる月ごとの医療費総額が5万円を超える月が年間6回以上ある場合

---

## ● 自己負担上限額の管理

複数の医療機関を受診したり、薬局で薬を受け取ったりした場合、それぞれの窓口で支払った自己負担額を合算した金額に自己負担上限額が適用されます。そのため、指定医療機関での支払い内容は、医療受給者証とともに交付される自己負担上限額管理票に記録し、管理することになっています。

患者さんは指定医療機関を受診するたびに自己負担上限額管理票を提出し、指定医療機関が医療費の総額と自己負担額を記入します。

合算額が自己負担上限額に達したら、その月はそれ以降の自己負担は発生しません。

# 高額療養費制度

## ● 高額療養費制度の仕組み

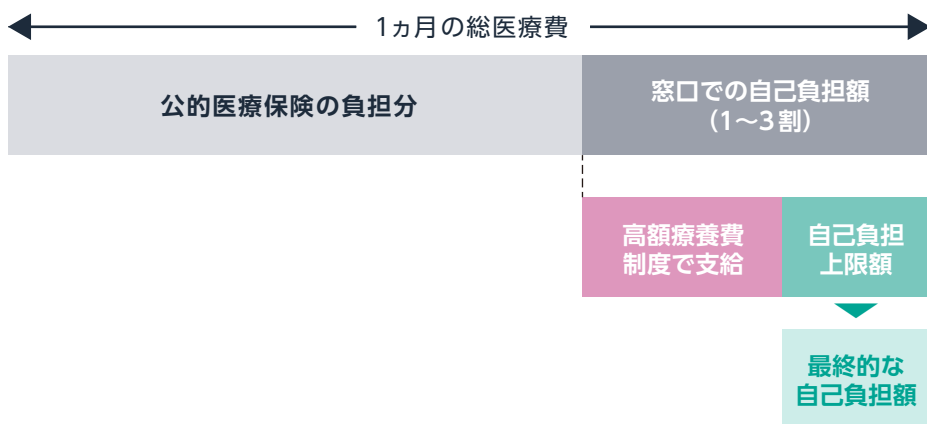
高額療養費制度は、病気やケガの種類を問わず、病院や薬局の窓口で支払った1ヵ月（月のはじめから終わりまで）の医療費が高額になった場合、一定の金額（**自己負担上限額**）を超えた分が支給される制度です。

公的医療保険に加入している人なら誰でも利用できますが、制度の対象となるのは公的医療保険が適用される診療のみで、入院時の食事代や差額ベッド代、先進医療の費用などは対象外です。

1つの医療機関での自己負担額では上限額を超えないときでも、同じ月に別の医療機関を受診した場合は、その自己負担額\*を合算することができます。この合算額が上限額を超えていれば、高額療養費制度が適用されます。

※69歳以下の場合は2万1,000円以上であることが必要

## 高額療養費制度が適用されたときの最終的な自己負担額



高額療養費制度の利用方法（自己負担上限額を超えた分の支給方法）については、21ページをご覧ください。

高額療養費制度の情報は、厚生労働省のホームページでご確認ください。

## ● 自己負担上限額

自己負担上限額は、申請者の年齢（69歳以下、70歳以上）と所得水準によって異なります。70歳以上の方の一部には、外来だけの上限額も設けられています（20ページをご覧ください）。

また、高額療養費制度には**多数回該当**や**世帯合算**という仕組みがあり、継続して高額な医療を受ける必要がある場合や、世帯全体の医療費がかさんだ場合に、自己負担額がさらに軽減されます。

## 自己負担をさらに軽減する仕組み

### 多数回該当

過去12ヵ月以内に3回以上高額療養費制度の適用を受けた場合、「多数回」の該当となり、4回目から自己負担上限額が引き下げられる。

.....

### 世帯合算

同じ公的医療保険に加入している家族が支払った自己負担額を合算し、その合算額が自己負担上限額を超えたときに、超えた金額が支給される。

# 高額療養費制度

## 69歳以下の方の自己負担上限額

適用区分	ひと月の自己負担上限額 (世帯ごと)	多数回 (4回以上※) 該当の場合
年収：約1,160万円～ 健保：標準報酬月額83万円以上 国保：旧ただし書き所得901万円超	252,600円 + (医療費-842,000) ×1%	140,100円
年収：約770万円～約1,160万円 健保：標準報酬月額53万円～79万円 国保：旧ただし書き所得600万円～901万円	167,400円 + (医療費-558,000) ×1%	93,000円
年収：約370万円～約770万円 健保：標準報酬月額28万円～50万円 国保：旧ただし書き所得210万円～600万円	80,100円 + (医療費-267,000) ×1%	44,400円
年収：～約370万円 健保：標準報酬月額26万円以下 国保：旧ただし書き所得210万円以下	57,600円	44,400円
住民税非課税者	35,400円	24,600円

※過去12ヵ月以内

## 70歳以上の方の自己負担上限額

適用区分		ひと月の自己負担上限額		多数回 (4回以上※) 該当の場合
		外来 (個人ごと)	外来・入院 (世帯ごと)	
現役並み	年収：約1,160万円～ 標準報酬月額：83万円以上 課税所得：690万円以上	252,600円 + (医療費-842,000) ×1%		140,100円
	年収：約770万円～約1,160万円 標準報酬月額：53万円以上 課税所得：380万円以上	167,400円 + (医療費-558,000) ×1%		93,000円
	年収：約370万円～約770万円 標準報酬月額：28万円以上 課税所得：145万円以上	80,100円 + (医療費-267,000) ×1%		44,400円
一般	年収：156万円～約370万円 標準報酬月額：26万円以下 課税所得：145万円未満等	18,000円 (年間上限*1) 144,000円)	57,600円	44,400円*2
住民税非課税等	Ⅱ住民税非課税世帯	8,000円	24,600円	多数回該当は 適用されません
	Ⅰ住民税非課税世帯 (年収入80万円以下等)		15,000円	

\*1: 8月1日～翌年7月31日の自己負担上限額です。 \*2: 外来(個人ごと)の場合は対象になりません。 ※過去12ヵ月以内

高額療養費制度の情報は、厚生労働省のホームページでご確認ください。

## ● 利用方法

高額療養費制度を利用するには、3つの方法があります。

1つめは医療機関や薬局の窓口\*でマイナンバーカード(マイナ保険証)を提示する方法、2つめは限度額適用認定証を提示する方法です。

この2つの方法では、窓口での支払い額が自己負担上限額になります。ただし、限度額適用認定証は事前に申請の手続きが必要です。

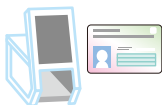
3つめは、医療機関や薬局の窓口で通常通りの金額を支払い、後日、加入している公的医療保険に申請をして、自己負担上限額を超えた分の払い戻しを受ける方法です。手続きが必要なことに加え、払い戻しには申請から3ヵ月程度かかります。

## 3つの利用方法

### ① 窓口でマイナ保険証を提示する

手続き不要

医療機関や薬局の窓口\*でマイナ保険証を提示し、顔認証付きカードリーダーで限度額情報の提供に同意する。



窓口での支払い額が自己負担上限額に

### ② 窓口で限度額適用認定証を提示する

事前の手続きが必要

限度額適用認定証、限度額適用・標準負担額減額認定証は、加入している公的医療保険に申請書を提出すると交付される。医療機関や薬局の窓口でこれを提示する。支払いの発生までに交付が間に合わなかった場合は、事後に払い戻しの手続きをする。

### ③ 事後に手続きをする

申請後に払い戻し

医療機関や薬局で通常の金額を支払い、後日、加入している公的健康保険に高額療養費の支給申請書を提出する。

\*オンライン資格確認を導入している医療機関等

厚生労働省、高額療養費制度を利用される皆さまへ（平成30年8月診療分から）

([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/iryuuhoken/juuyou/kougakuiryuu/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuuhoken/juuyou/kougakuiryuu/index.html))

厚生労働省、マイナンバーカードの健康保険証利用について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_08277.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08277.html)

# 医療費の負担を軽減するその他の制度

## ● 付加給付制度

特定の企業や業種の健康保険組合、公務員などの共済組合などには、独自の「付加給付」が設けられているケースがあります。これは国が定める高額療養費制度よりも手厚い助成制度で、自己負担上限額がさらに低く設定されています。

各健康保険組合により異なりますが、厚生労働省の指導に基づき、自己負担上限額は一般的に1ヵ月25,000円です。

「一部負担金払戻金」「療養費付加金」などとも呼ばれるため、ご自身の健康保険組合に付加給付制度があるか確認してみましょう。

お問い合わせ先：ご自身の健康保険組合

## ● 高額介護合算療養費制度

医療保険と介護保険の両方のサービスを利用する世帯のための制度です。1年間に支払った2つの保険の自己負担額を合算し、この制度独自の自己負担限度額を超えた場合は、超えた額の払い戻しが受けられます。

お問い合わせ先：お住まいの市区町村

## ● ひとり親家庭等への医療費助成制度

自治体によっては、ひとり親家庭（母子家庭・父子家庭）の方に医療費助成を行っている場合があります。

自治体によって助成内容や申請方法が異なりますので、ご注意ください。

お問い合わせ先：お住まいの市区町村

他にも重度障がい者のための医療費助成制度など、自治体ごとにさまざまな制度があります。  
制度の詳細や手続きなどについては、お住まいの自治体にお問い合わせください。



# 医療費控除

生計をともにする家族の医療費が、1月から12月の1年間で10万円を超える場合には、確定申告を行うことで、所得税などが還付される場合があります。

## 医療費控除の手続き

- ① 加入する公的医療保険から送られてくる「医療費通知」「医療費のお知らせ」などで、1年間に支払った医療費が控除の対象かどうかを確認
- ② 「確定申告書」や「医療費控除の明細書」を税務署の窓口、または国税庁のホームページから入手し、必要事項を記入
- ③ 必要な書類を税務署に提出（通常は、2月16日から3月15日の間に確定申告書を提出）



約1ヵ月から1ヵ月半後、指定した振込口座に還付金が振り込まれます

## < 医療費控除額の計算方法 >

$$\begin{array}{l} \text{医療費} \\ \text{控除額} \end{array} = \left( \begin{array}{l} \text{実際に1年間で} \\ \text{支払った医療費} \end{array} - \begin{array}{l} \text{保険金等で} \\ \text{補てんされた金額} \end{array} \right) - 10\text{万円}^* \\ \text{(最高200万円)} \qquad \qquad \qquad \text{※その年の総所得金額等が200万円未満の方は総所得金額等の5\%の金額}$$

## < 還付金のめやすの計算方法 >

$$\text{還付される税金のめやす} = \text{医療費控除額} \times \text{所得税率}$$

国税庁ホームページ (<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/shotoku/1120.htm>)

お問い合わせ先：最寄りの税務署

# 医療費助成制度 サポートサービス

ファセンラによる治療を行った際のおおよその自己負担額をご確認いただけるサービスを提供しています。

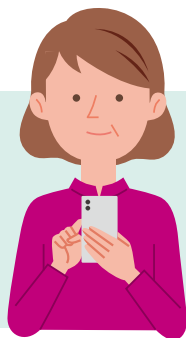
## 薬剤費シミュレーター

ファセンラをご使用になる好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) の患者さん・ご家族のためのWebサイト内で、治療費のシミュレーターをご利用いただけます。

年齢、年収、医療費の自己負担割合などに関する質問にご回答いただくことで、ファセンラによる治療にかかる薬剤費の、おおよその自己負担額\*を算出します。

### ご利用はこちらから ▼

<https://www.fasenra-az.jp/simulator/>



\* 窓口で実際にお支払いいただく金額は、診察や検査にかかる費用や通院状況などにより、算出された金額と異なる場合があります。

## 治療費コンシェルジュ

ファセンラによる治療の費用に関して、無料でご相談いただけるコールセンターです。

あなたの利用できる医療制度や、制度を利用した場合の自己負担額等について、専門のコンシェルジュがお答えします。



**0120-228-356**

受付時間：平日・土曜日 9:00～21:00



### ファセンラ治療費コンシェルジュにおける個人情報のお取り扱いについて

個人情報の取得・管理は、コールセンターの運営を行うシミックヘルスケア・インスティテュート株式会社が行います。本コールセンターの利用においては、以下の個人情報をご提供いただく必要があります。

#### ■ 治療費の計算（概算）をするための情報

※指定難病医療費助成・高額療養費の自己負担限度額は年齢や所得で決まります。

- ① 年齢（69歳以下もしくは70歳以上） ② 市町村民税や年収の目安、所得の区分

#### ■ ご相談に対する回答や関連資料を郵送またはメールで送付するための連絡先

- ① 氏名 ② 住所 ③ 電話番号 ④ メールアドレス

同社は、個人情報の取り扱いに関してはプライバシーマークを取得しており取得した個人情報に関しては、個人情報保護法、及び同社とアストラゼネカ株式会社のプライバシーポリシー (<https://www.cmic-hci.com/privacy>) に基づき適切に管理します。



## 治療費コンシェルジュのご利用方法

### STEP 1 電話をかける

平日・土曜日の9:00～21:00に、以下のフリーダイヤルにお電話ください。



0120-228-356

受付時間：平日・土曜日 9:00～21:00

### STEP 3 コンシェルジュに相談する

相談した内容については、以下の記入欄にメモしておきましょう。

#### あなたのおおよそ所得区分

☐ 指定難病医療費助成制度の対象となる場合

	市町村民税	年収の目安
<input type="checkbox"/>	市町村民税 25.1 万円以上	約 810 万円～
<input type="checkbox"/>	市町村民税 7.1 万円以上 25.1 万円未満	約 370 万円～約 810 万円
<input type="checkbox"/>	市町村民税課税以上 7.1 万円未満	約 160 万円～約 370 万円
<input type="checkbox"/>	非課税	80.9 万円超～
<input type="checkbox"/>	非課税	～ 80.9 万円

難病情報センター 各種制度・サービス概要 指定難病患者への医療費助成制度のご案内  
<https://www.nanbyou.or.jp/entry/5460>

☐ 高額療養費制度を利用する場合（70歳以上）

	「健康保険・その他」の場合の目安	「国民健康保険」の場合の目安
<input type="checkbox"/> ア	標準報酬月額 83 万円以上	課税所得 690 万円以上
<input type="checkbox"/> イ	標準報酬月額 53 万円以上	課税所得 380 万円以上
<input type="checkbox"/> ウ	標準報酬月額 28 万円以上	課税所得 145 万円以上
<input type="checkbox"/> エ	標準報酬月額 26 万円以下	課税所得 145 万円未満等
<input type="checkbox"/> オ	Ⅱ 住民税非課税世帯	住民税非課税世帯
<input type="checkbox"/> カ	Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入 80 万円以下など)	住民税非課税世帯 (年金収入 80 万円以下など)







